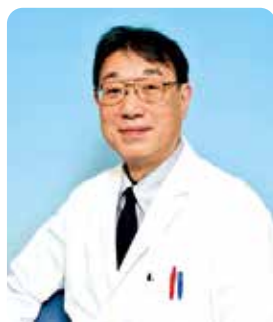


## 新病院長あいさつ



静岡県立静岡がんセンター 病院長  
小野 裕之

皆さま、こんにちは。2023年4月より、静岡がんセンターの院長に就任いたしました小野裕之と申します。

専門は消化器内科、内視鏡診断・治療です。これまでは主に食道がん、胃がんなどの上部消化管疾患の内視鏡診療に携わって参りました。院長としてはまだまだ未熟者であり、皆さまのご協力、ご指導を賜れば幸いです。

がんは、現代社会において多くの方々にとって深刻な問題となっております。地域医療機関・施設の皆さま方も、がん悩まされる患者さんを診療され、お力を尽くされていることと存じます。私たちが、がんセンターで果たすべき役割は、地域医療機関と連携し、がん患者さんに最善の治療とケアを提供することです。私たちは、

地域の皆さま方と協力して、がん治療において最新の知見を取り入れ、地域の方々が安心して治療を受けられる環境を作り上げることを目指しています。「地域のがん医療を共に築くための静岡がんセンターと地域医療機関の連携強化」が重点目標であります。そのためには、紹介制度の整備が必要であり、地域医療機関から静岡がんセンターへの患者さんの紹介をスムーズに行うために当院の地域医療連携室がごぞいます。適切な情報共有や紹介手続きの簡素化を図り、地域の先生方、施設の皆さんとの連絡や患者さんの受診の際の負担を軽減すべく努力をしています。不備や不具合など、お気づきの点がございましたら是非お知らせください。ご利用いただく皆さまのご意見をお待ちしております。

また、これまで当院は地域の医療従事者向けの講習・研修会を行って参りました。がんの早期発見や診断、治療方法、患者ケア、社会的支援などの最新情報を共有し、連携を強化したく存じます。将来的には医療Dx：電子カルテや情報システムを活用して、地域医療機関と当院の間で患者情報の共有を円滑に行えるようにしたいと考えております。診断結果や治療履歴の共有により、患者のケアの連続性を確保し、地域の医療機関・施設と当院がともに診療を行い両者が主治医となる、いわゆる「二人主治医制」の実現に向けて地域の皆さまと手を取り合い、患者さんへのよりよい医療を作り上げていきたいと考えています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



### もくじ CONTENTS

- 病院長挨拶…………… P1
- 副院長の紹介…………… P2
- 看護部長の紹介…………… P2
- 部署紹介(栄養室)…………… P3
- 特集: 神経ブロック療法…………… P4~5
- 地域医療連携室からのお知らせ…………… P6





## 静岡がんセンター副院長、看護部長の紹介

今年度、新たに副院長と看護部長に就任致しました2名のご紹介をさせていただきます。

すいしゅ

### ■ 水主 いづみ 副院長



皆さま、いつもお世話になっております。副院長(看護担当)の水主いづみと申します。副院長としての職掌は、看護部、患者家族支援センターの支援、栄養室、認定看護師教育課程、多職種チーム医療推進等です。看護部では、患者家族支援センターを中心に病棟、外来他、多職種と連携し、患者さん、家族の支援の強化に取り組んでいます。がん医療の進歩、変化により治療の種類、数が増え、患者さんの高齢化に加え、それを支えるご家族の社会的背景も複雑化してきています。よって、支援が必要な問題を早期から情報収集、把握し、多職種で介入していくことが求められています。加えて、在宅支援においては、新型コロナによる面会制限なども影響し、在宅療養を希望する患者さんが増えています。患者さんご家族の意向にそった療養生活ができるよう今後は、よりいっそう地域の医療連携を強化し、支援を推進していくことが重要であると考えています。引き続き、ご指導のほどよろしくお願い致します。

えんどう くみ

### ■ 遠藤 久美 看護部長



2023年4月より看護部長に就任いたしました。遠藤久美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

がん患者は高齢化が進み、2021年度に当院で全身麻酔手術を受けた患者さんの4人に1人は75歳以上でした。また独居で身寄りのない患者さん、家族がいても疎遠でサポートが得られない状況の患者さんも増えています。このような患者さんがご自宅や住み慣れた地域でがんという病気やその治療と付き合いながら生活していくためには地域の皆様の支援が欠かせません。またがん患者さんは地域と病院を行ったりきたりしながら、がん治療のプロセスを辿っていきます。そのため患者さんがどこに居てもその時に必要なケアが提供され、そのケアが引き継がれていく必要があります。今後も多職種チーム医療のケアの責任者として最善のケアを提供しつなげていくよう努力してまいります。現在も多くの地域の皆様と連携させていただいておりますが、引き続きのご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

### しずがん 院内アート探訪

このコーナーでは静岡がんセンター庁舎の院内アート作品をご案内しています。静岡がんセンター1階陽だまりラウンジへ向かう廊下壁面に展示されています。壁いっぱいの大きな作品で、患者さんやご家族の心を癒しています。

<作者より>

大地に力満ち、花は、季と場所を心得て  
黙って咲き、散って再び人の心に想いを残す。  
風や光と遊んで、いとおしく咲く。  
私もその花のように、今日を切に生きとうて、  
染めました。皆様に愛されて、野にあるように  
咲くことを願っています。  
葛、楡の木を横糸に縦糸は麻。1日60センチ位  
しか織れない尊い生命の布です。  
(葛布) 山桃、くるみ、茜、コチニール、臭木等

タイトル：「野に咲く花のように」 作：小川 良子(平成14年3月)





当院栄養室は管理栄養士9名、事務1名で、日々交替で業務を行っています。開院時より、患者さんや家族に寄り添うべく、状態や嗜好にあった食事の提供や、患者さんや家族が自らに合った自己管理が可能となるような情報発信に努めてきました。患者食は業務委託ですが、協力を得て毎食の選択食や誕生日ケーキの提供等を行っています。

入院期間の短縮や治療の外来移行が進む今日、自宅での食生活に困らないようホームページから食事の工夫やレシピを公開しています。よろしければご活用ください。

また、栄養管理では、外来化学療法や高齢者の入院前スクリーニング、入院時栄養管理体制等の充実に努めています。

### 当院における食事提供システム

**選択食**  
主食・主菜・副菜・その他  
それぞれ複数の料理から選択  
組み合わせは数十通り！  
個人の嗜好に少しでも対応

**セット食**  
食べやすく人気の高い  
変わり主食のランチセット

**特別メニュー**  
ちょっと気分を上げて・・・  
(追加料金)

タッチパネル画面から料理写真を見て選択

入院中にお誕生日を迎える方には、心ばかりのケーキでお祝い致します！

### セットメニュー

- ラーメン
- スパゲッティ
- 焼きそば
- オムライス
- チャーハン
- ちらし寿司
- カレー
- ハンバーガー
- ホットドッグ
- などなど

<http://survivorship.jp>

当院のレシピを公開しています！





# 神経ブロック療法による症状緩和

緩和医療科 部長 佐藤 哲観

## 1) 神経ブロックとは

がん病変によって生じた侵害刺激（痛みの原因となる物理化学的刺激）を末梢から中枢へと伝える神経系のいずれかの部位に麻酔薬や神経破壊薬を作用させて、侵害刺激の伝達や伝導を遮断する手技です。

遮断する神経別に、交感神経ブロックと知覚神経ブロックとがあります。

がん疼痛に対しては、一般的にオピオイドを中心とする薬物療法を実施しますが、薬物療法に抵抗性の痛みや鎮痛薬を多量に必要とするような痛みに対しては、放射線治療や IVR 治療と並んで有力な疼痛緩和手段となります。

がんによる痛みに対しては、主として神経破壊薬を用いるブロックを行うことが多いですが、帯状疱疹痛や神経根症などには局所麻酔薬＋ステロイドによるブロックを行います。神経破壊薬としては、主としてアルコールを用います。主な適応については2) で述べますが、禁忌としては、血小板減少や凝固異常、抗凝固薬や抗血小板薬投与中、易感染性、安静保持が不可能な場合、などが挙げられます。

## 2) 対象疾患

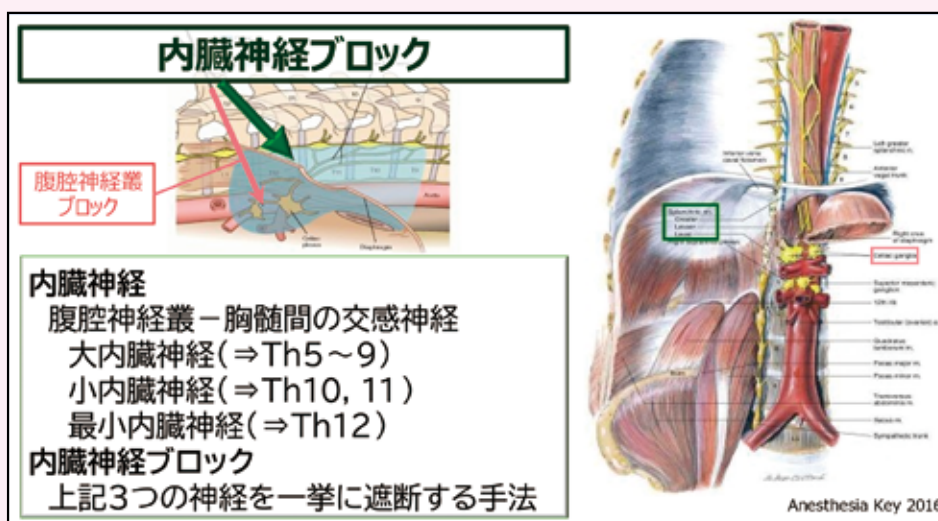
早期から適応となる病態

交感神経ブロックは、知覚・運動機能に影響を与えずに痛みを遮断する手技ですので、比較的早期から適応となります（できるだけ早期に実施することが望ましいとも言えます）。

## 3) 主な交感神経ブロック

### (1) 内臓神経ブロック（腹腔神経叢ブロック）

肺癌などの上腹部内臓のがん由来の内臓痛や、傍腹部大動脈リンパ節腫大によって生じる、心窩部痛や腰背部痛に適応となります。副次的な効果として、消化管の蠕動運動促進や血流増加が得られますが、半面で一時的な下痢や血圧低下といった副作用の原因にもなり得ます。第12胸椎/第1腰椎間の椎間板を経由して脊柱の前方へブロック針を到達させ、retrocrural space に神経破壊薬を注入します。したがって、



この部位の脊柱の異常や、リンパ節腫大によって retrocrural space が充満しているような場合には実施できません。また十分量の補液を行う必要があるため、全身浮腫、胸水や腹水などの体腔内水分貯留がある患者さんには不適応となります。

図1：内臓神経ブロックの解剖

背部からブロック針を穿刺して、第12胸椎/第1腰椎間の椎間板経由で前十靱帯前方、両側横隔膜脚大動脈に囲まれたretrocrural spaceへ到達し、無水エタノールを注入する。



## (2) 上下腹神経叢ブロック

膀胱、直腸、前立腺、子宮などの骨盤腔内臓器由来の下腹部や会陰部の内臓痛に適応となります。合併症や副作用は比較的少なく、補液も少量で十分です。第5腰椎／仙骨間の椎間板を経由して脊柱の前方、大動脈分岐部の尾側後腹膜腔に神経破壊薬を注入しますので、この部位の脊柱の変形が強い場合には実施できません。

## (3) 仙骨硬膜外エタノール注入法

会陰部や（旧）肛門部の痛みで座位保持が困難な場合に適応となります。排泄機能への影響が比較的少なく、安全性の高い治療法です。

### ①時期を問わず、広い範囲の痛みに適応となるブロック

持続硬膜外鎮痛法・持続くも膜下鎮痛法

体幹部から下肢にかけて、広い範囲に激しい痛みがある場合には持続くも膜下鎮痛法が、痛みの範囲が体幹部に限局的で激しい痛みがある場合には持続硬膜外鎮痛法が、それぞれ適応となる場合があります。いずれもカテーテルとポートを皮下へ埋め込んで、薬液注入用の専用ポンプをポートに接続すれば、長期間の使用も可能です。

### ②最終手段として考慮する病態

四肢の知覚神経を遮断するブロックは、運動神経系の遮断効果も伴うことが多いため、しびれや脱力を生じることとのトレードとなります。したがって、他に手段がなく、知覚・運動機能の喪失が大きな問題とならない場合にその適応限定されます。

➤目的：第4～第5仙髄領域の知覚遮断  
➤対象：骨盤底がん病変による会陰部痛  
➤方法：  
    ➤事前の局所麻酔薬持続注入  
    ➤神経破壊薬注入前に造影剤で薬液の広がりを確認  
    ➤神経破壊薬の注入法  
        ポース注入(プライミング)  
        + 間欠的精密持続注入  
➤途中で効果と副作用を確認できる  
➤排泄機能への影響が少ない  
➤効果の持続期間：数か月間～1年間程度



カテーテル留置

dreamstime.com

図2：仙骨硬膜外エタノール注入法のエッセンス

仙尾靱帯經由で硬膜外カテーテルを挿入し、第3/4仙椎の高さに先端が位置するように留置する。

一晩局所麻酔薬を持続注入して効果と副作用を確認し、翌朝から無水エタノールを間欠的に持続注入する。

## 【当院で神経ブロック療法を受けるには】

まずは、緩和医療科へご相談ください。神経部位ブロックの適応判断につきましては、随時お電話等でご連絡いただければできるだけ迅速に対応いたします。

なお、**毎週火曜日の午後**に**神経ブロック外来**を開設しております。

当院地域連携室を通じて受診希望日の前日までにはご予約をお願いいたします。

当科へのご相談の際には、可能な範囲で直近の CT・MRI などの画像や血液凝固系検査データを揃えていただくと助かります。

# 地域医療連携室よりお知らせ

## 【研修情報】

### 1. 2023 年度臨床腫瘍学コース

毎月、臨床腫瘍学コースを開催し地域の医療従事者の方々にも公開しています。

是非ご参加下さい(オンライン受講可)

会 場：静岡がんセンター 管理棟 4 階 研修室 1

開催時間：18:00～19:30

\*詳しくは、静岡がんセンター総務課企画人材班 TEL：055-989-5222(代)までお問い合わせください。



| 日 時       | テーマ                   | 講師(敬称略)                |
|-----------|-----------------------|------------------------|
| 6月23日(金)  | 基礎知識 遺伝子パネル検査(仮)      | 鈿持 広知 ゲノム医療支援室         |
| 7月 7 日(金) | 免疫チェックポイント阻害薬の基礎知識(仮) | 村上 晴泰 がん免疫薬物療法マネジメント部会 |
| 7月14日(金)  | 患者・被験者とのコミュニケーション(仮)  | 枷場 美穂 緩和医療科 心理士        |
| 7月21日(金)  | がん患者の口腔ケア(仮)          | 百合草健圭志 歯科口腔外科 部長       |
| 7月28日(金)  | 最新の内視鏡治療(仮)           | 堀田 欣一 内視鏡科 部長代理        |
| 8月 4 日(金) | がん悪液質への取り組み(仮)        | 内藤 立暁 呼吸器内科 医長         |
| 8月25日(金)  | がん治療における皮膚障害とケア(仮)    | 清原 祥夫 皮膚科(支持療法センター長)   |

### 2. 2023 年度疾病管理センター研修日程

疾病管理センター企画の研修会の開催予定をお知らせします。

#### 1) がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会(県内医師、看護師等)

開 催 日：2023 年 9 月 9 日(土)

開催時間：8:30～17:00

会 場：静岡がんセンター しおさいホール

#### 2) がん専門病理医養成研修会(県内医師、検査技師等)

①2023 年 9 月 9 日(土) 大腸腫瘍の病理診断(仮題)／消化管 NET の病理診断(仮題)

②2023 年 11 月 25 日(土) 悪性リンパ腫の病理診断(仮題)／遺伝性腫瘍の病理(仮題)

③2024 年 1 月 27 日(土) 蛍光 L- グルコース 2-NBDLG を用いた腹水細胞診断(仮題)／  
卵巣腫瘍の組織診・細胞診(仮題)

開催時間：13:00～16:20

会 場：レイアップ御幸町ビル CAS 貸会議室)

\*詳しくは、静岡現センター疾病管理センター TEL：055-989-5222(代)までお問い合わせください。



## 編集 後記

今年度最初のやまびこをお届けします。

コロナも第5類に引き下がり、少しずつ明るい陽射しが見えてきました。

ただただ耐え忍ぶ3年間。それでも悪いことばかりじゃない。コロナ禍前は  
熱があっても座薬を使い熱を下げ、這ってでも出勤する医療従事者(涙)。

でも今は気兼ねなくゆっくりと休むことが通常となりました。コロナの良い置き土産です  
ね。当院満開のバラ園を散策しながら週休3日となることを切に願う今日この頃です。



発 行 静岡県立静岡がんセンター 患者家族支援センター 地域医療連携室

〒411-8777 駿東郡長泉町下長窪1007 TEL 055-989-5222(代)

発行責任者 地域医療連携室長 小笠原 環